

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	827 公民館管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
		目	05	公民館費
基本 施策	33 だれもが生きがいを持てる機会をつくる	細目	443	公民館管理費
		細々目	01	公民館管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	451300		担当者
	名称	教育委員会 上野公民館		氏名
				福徳 大司
				連絡先
				22 - 9801 (内線) 3701

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市中央公民館並びに上野公民館の生涯学習施設を利用する市民 ※対象件数		
成果(どうする)	生涯学習の活動の場を提供し利用してもらうことによって、市民の学習意欲や発表意欲が高まり、充実した生活、満足できる生活の一部を実現できる。		
根拠法令・要綱等	社会教育法 伊賀市公民館条例		
開始年度	平成	年度	関連事業
終了年度	平成	年度	
H21 事業 内容	伊賀市中央公民館並びに上野公民館の管理及び施設の貸出し 少年団対等育成指導委員活動(青少年団体等の指導・運営)		
社会情勢 の変化等	公民館教室・講座、サークル活動、展覧会や発表会、各種団体や行政機関等の会議場とさまざまな施設の利用がされている。市民の生涯学習に寄与できる施設として管理を続けているが老朽化が著しい。新しい施設が望まれる。		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	2人
3 年間運営費	3,097千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
年間施設利用日数		日	目標 366	目標 365	360	360
			実績 362	実績 359		
少年団体等育成指導員活動延べ人数		人	目標 155	目標 0	0	0
			実績 162	実績 0		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
公民館利用者数		施設の内容が充実すれば、施設の利用者が増加する。	人	目標 32000	目標 32000	27000	27000
				実績 26592	実績 26304		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	3,263	5,275	1,834	1,834				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	3,263	5,275	1,834	1,834				
事業投入人件費(B)	0.3人	1,800	0.3人	1,800	0.3人	1,800	0.3人	1,800
フルコスト(A)+(B)	5,063	7,075	3,634	3,634				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		伊賀市中央公民館並びに上野公民館は、集会・学習・研修・発表・展示活動等公共的利用の場として公民館施設を市民に提供している。
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
基本	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
性	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
度	予算の繰越の有無 無	
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
効	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
率	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	老朽化が著しく、施設も狭い。利用者が施設の予約を取り合っている。新しい施設が望まれる。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	利用者の施設の利用の調整を行いながら利用者の利便を図っています。上野市駅前市街地再開発事業により再開発ビルで公民館活動スペースの説明がなされた。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	福徳 大司
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	公民館教室・講座、サークル活動、展覧会や発表会、各種団体や行政機関等の会議場とさまざまな施設の利用がされている。市民の生涯学習に寄与できる施設として管理をしているが、老朽化が著しく新しい施設が望まれる。
現時点における課題、その他	老朽化が著しく、公民館の維持管理が難しくなっている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	日常的に維持管理に努め、利用者の利便性を高めている。